



ロータリーの未来は THE FUTURE OF ROTARY  
あなたの手の中に IS IN YOUR HANDS

.....国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

# SUITA ESAKA ROTARY CLUB

## CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日／1990.2.27 事務所／〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)  
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

OSAKA  
JAPAN

例会場／新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30  
会長：渡辺忠雄 幹事：西本健二 会報委員長：速見憲

### 2009年9月15日 第922回例会(第921号)

#### ○○ 本日の例会 ○○

今週の歌 「四つのテスト」

卓話 「私の職業」

～会員交流のためのスピーチ～

赤尾、新井、東、延、榎谷 各会員

#### ○○ 次回例会のお知らせ(9月29日) ○○

クラブアッセンブリー

「公式訪問に向けて」

司会 西本健二 幹事

#### 前回〔9月8日〕例会記録

#### 会長の時間

渡辺会長

皆様、こんにちは。

先週、北村雅計さんに入会していただき在籍会員数が43名になりました。

日本で最初のロータリークラブは、1920年(大正9年)10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟承認されました。

日本では、2009年5月末現在34の地区に分かれており、国内のクラブ数は2,305、会員数は9万4,845人です。

当クラブでは、会員増強推進特別委員会が3年間は委員の固定で会員増強に取り組んでいただきますが、会員の皆様にもご紹介をお願いいたします。何もしなければ何も変わることはありません。是非、行動を…。

#### 出席報告

庄瀬委員

#### 【9月8日】

在籍会員 43名(内出席規定適用免除者 9名)  
出席会員 31名(内出席規定適用免除者 6名)  
ホームクラブ出席率 77.50%

8月18日のMUを含む出席率 95.00%

#### 幹事報告

西本幹事

20周年実行委員会組織を本日の週報に発表しておりますので、よろしくお願ひします。

#### クラブ広報委員長会議の案内

日時：9月26日(土) 13:30~16:00

場所：薬業年金会館301号室

橋本委員長よろしくお願ひします。

本日例会終了後、新会員推薦に関して臨時理事会を開催します。

本日例会終了後、会員増強推進特別委員会を事務局にて開催します。

#### ニコニコ箱

原会員 本日はよろしくお願ひ致します。  
昨夜は眠れませんでした。

#### 奉仕活動委員会

寺井委員

(青少年担当)

「地域安全・青少年育成 吹田市民大会」のお知らせ  
吹田市より、地域ぐるみで青少年を守り、安心安全で住みよいまちづくりをめざすことを目的に、標題の吹田市民大会開催の案内がきてあります。下記の要領で行なわれますので、ご参加の程よろしくお願ひ致します。

日時：10月8日(木) 午前10時~12時

場所：吹田市文化会館「メイシアター」大ホール

講演：「深刻化するネット犯罪・ネットいじめその現状と大人の役割」

講師：渡辺真由子さん(メディアジャーナリスト)

ロータリーとは、他人に対する思いやりと、他人のためにつくすことである。

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## ゴルフ同好会

新井 委員長

10月14日(水)、アートレイクでのゴルフ同好会出欠票を各テーブルに回させて頂きますので、よろしくお願ひ致します。

## 卓 話

### 「私の職業」 原 行 弘 会員

皆様、こんにちは。

原でございます。本日は私の職業のお話をさせていただきます。

最初に、私自身の生い立ち、どうして塗装の仕事に就いたかを話します。

私は岡山県北部にある温泉町に次男として誕生しました。人口3,000人余りの山間にある小さな温泉町です。そして、中学生から始めたバスケットボールが縁で私立高校へスポーツ推薦として入学致しましたが、あまりの成績優秀に2年間でのスピード卒業となりました？

卒業後、当時まだ17歳の私はどのような仕事をすればよいか悩んでいるところに、尼崎で工務店を経営されてる社長さんに、大阪に行けばいくらでも仕事があると誘われ、岡山県の田舎を去ることになり、塗装の仕事に就くこととなりました。

当時は日当4千円からのスタートでしたが、塗装の仕事も色々有る事を知り、高所での作業は3万円位貰えると聞き、高所塗装作業をすることになりました。高所塗装作業とは、鉄塔・煙突・観覧車・ジェットコースター等を塗装工事するため、北海道から沖縄まで日本各地を周りました。忙しい時は桜の花を1年間に6度も見るぐらい駆け巡っていました。

23歳の時ふと高所塗装作業に見切りをつけ、親方になりたいと思い、何もあてのないまま、原塗装を設立しましたが、時は私が知らぬ間にバブル景気となり、弱冠20代半ばで、住宅ローンも完済出来る程の勢いでした。

しかし好景気はいつまでも続かないもので、ある日突然バブル景気崩壊し、原家も崩壊することとなりました。今まで一度も仕事の受注が途絶えたことの無かった私にとって苦悩の日々を過すこととなりました。

その後、私にとって第二の転機がやってまいりました。阪神・淡路大震災です。被災された方々には本当に失礼ですが、阪神・淡路大震災が無ければ今の私は無かったかもしれません。

そして平成12年3月、株式会社みはら屋建装設立し現在に至ります。

主な工事内容は、塗装・ハウスクリーニング・内

装(クロス・床貼)工事です。特にフランス漆喰壁・珪藻土・自然塗料等の工事をこれからは主にして行いたいと思っています。

次に社員について話させていただきます。

私の他、経理事務員さん1名、職人12名の小さな会社です。その内の職人8名は、見習時分から私自身が現場指導してきました。職人を育てる事はとても根気がいるのですが、彼たちは争うように技術を身につけ、そして立派な職人と成長してくれました。

そんな彼らとの付き合いの仲で、お客様に、みはら屋建装の職人さんは、よく働き綺麗に仕上げますね、と言われるのが最高に嬉しい瞬間です。この良きスタッフに支えられ社長業をさせていただける私は本当に幸せ者です。

まだまだ至らぬ私ではありますが、今後とも宜しくお付き合いをお願い致します。本日はご拝聴有り難うございました。

### 『友』インターネット速報

2009年9月8日 NO.397

#### マッチング・グラント予算を全額充当（抜粋）

ロータリー財団管理委員会は4月の会合で、世界的な経済危機により、各地で奉仕活動に取り組むロータリアンの支援財団への影響について検討しました。ほかの多くの財団と同様、ロータリー財団もプログラムの支出を抑えることを余儀なくされ、結果として、2009-10年度のマッチング・グラント予算も削減されることになりました。

世界各地の恵まれない人々の生活を改善するためにマッチング・グラントが果たす重要な役割を認識した管理委員会ではこのほど、今年度のマッチング・グラント予算に230万ドルを追加。これは、2008-09年度の補助金の支出削減により実現したものです。この追加予算も含め、現在、マッチング・グラントの予算はすべて充当されました。

今年度、マッチング・グラントを受領しなかったクラブと地区には、財団からの補助金の代わりに、現金と地区財団活動資金(DDF)でプロジェクト資金の全額を調達するよう奨励しています。この件については、補助金コーディネーターが、保留となっているマッチング・グラント申請書の提唱者に通知する予定です。現金とDDFだけで資金を調達する場合、プロジェクト予算が1万ドル以上必要であることにご留意ください。

ロータリー財団管理委員長・グレン E. エステス